

平成29年度 地球環境基金

助成活動実施報告書

●畑の制作（計20回）

日程	2017年 4/18午後・5/28・6/27・7/10.11.19.20・8/2.3.29.30・9/29・11/8.9.24.25.26.27 12/12.13
----	--

4/18午後 畑制作作業開始

初日、半日は、陸上でパイプカットや穴あけ等の準備



5月から11月は、水中作業開始

水中で、鉄筋棒の打ち込み、パイプ等を設置

サンゴ苗畑の制作



平成29年12月13日

2,000本の植付用の畑の完成

2 m × 3 0 mの長方形の畑を、4つ制作。合計2 4 0 m²の畑が拡大した。



●サンゴ苗の確保の為の調査（計3回）

日程	2017年 4/18午前・9/28・12/11
----	-------------------------

白化に強い苗の選定と、よりサンゴの種類が豊富な場所を選定した。

4月の調査では、養殖場所に選定している特区287号付近でサンゴを調査するも、全体的に浅い海域の為、まだ白化の影響は残っている状態だった。20種の確保は難しい現状を把握した。

9月の調査では、より多くのサンゴ種があるヨナラ水道と名蔵湾で調査を行なう。ヨナラ水道は、水深の深い場所もあり、多くの種のサンゴ苗を確認できた。

その為、サンゴの苗の確保は、ヨナラ水道で行なうことを決定した。

しかし、その後の沖縄県への申請の段階で、ヨナラ水道は、海域公園地区に指定されており、サンゴ苗の採捕が制限されていることが分かった。

県への申請以外にも、国への申請が必要となり、今年度中に許可を取ることが難しいと判断したため、名蔵湾へと採捕場所を変更した。採捕場所を変更したこともあり、20種の予定が17種に変更になった。

12/11に、名蔵湾で、最終調査を行ない、サンゴの苗の状態を確認した。



●サンゴ苗の確保と植え付け（計5回）

日程	2017年 12/13・2018年 1/18.19.21.22
----	---------------------------------

タガネとハンマーでサンゴ苗を確保

サンゴ苗を水中にてマグホウ付取付作業

採捕した苗を海中の畑に設置作業



平成30年1月22日

サンゴ畑の完成

2,000本苗の植え付け終了



●養殖畑のメンテナンス（計8回）

日程	2018年 2/15.16.19.20・3/4.5.6.7
----	-------------------------------

植付した苗に、海藻が付着している場合や、ステンレスバンドが緩んでいる場合がある為、1本ずつ苗を確認していく。

2月では、植付からそれほど日がたっていないため、2000本全てが順調に育っていることを確認。

3月のメンテナンスでは、2,000本の苗のうち、20本程度、一部白くなっているのを確認したが、全部が死滅しているわけではないので、海藻の掃除のみと、状況を見守ることとした。



●サンゴ苗作り教室の開催（計2回）

日程	2/17（土）石垣中学校 参加者17名 （20名の予定だったが、体調不良で欠席者あり） 2/18（日）八島小学校 参加者12名 （30名参加予定だったが、インフルエンザの流行により、欠席者多数）
----	--

サンゴについてのお話と、サンゴの苗作りの体験を行なってもらった。体験後に簡単なアンケートを記入してもらった。

【アンケート内容と集計結果】

①苗作りを体験して、どうでしたか？

楽しかった(19名)・ふつう(10名)・つまらなかった(0名)

②今日の体験を通して、サンゴのことを大事にしようと思えましたか？

今まで以上に大切にしたいと思った(21名)・今までと気持ちは変わらなかった(8名)・特になにも思わなかった(0名)

③この体験教室を来年も体験したいと思えましたか？

来年も参加したい(15名)・来年は参加しなくてもよい(4名)・どちらともいえない(10名)

このアンケート結果より、意識の向上は図れたが、継続的にサンゴについて興味を持ち続けさせることも課題であると感じた。

